

# 広報 志もじょう

村の人口と世帯	
人口	3,896人
男	1,880人
女	2,016人
世帯数	1,283世帯
平成28年 8月1日現在	

○発行：下條村役場 総務課／〒399-2101 長野県下伊那郡下條村睦沢8801番地1  
TEL0260(27)2311 FAX0260(27)3536 ○ホームページ<http://www.vill-shimojo.jp/>

平成28年 9月1日 第190号



## 主な内容

- 村長就任のあいさつ……………2～3
- 議会だより……………4～5
- あしたむらんどだより……………6～7
- ズームアップ下條……………8
- 振興課より……………9
- いきいきらんどだより……………12～13
- お知らせ……………14
- 村・役場の人事、戸籍の窓口他… 15
- 伊藤前村長退任あいさつ…………… 16

## 金田村政がスタート

7月25日 職員の歓迎の中、初登庁しました。

# のあいさつ

## 「元気あふれる村」づくりへスタート

下條村長 金田 憲 治



村民の皆様にご挨拶申し上げます。七月十日の下條村長選挙で多くの皆様方から温かい、そして力強いご支援をいただき、村長という重責を担うことになりました。私は、尊い一票一票の重みをかみしめ、いかにしてこれに応えるかその責任の重さを感じているところです。

全国に注目される「下條村」に築き上げてこられた伊藤村政の業績、特に徹底した行・

財政の運営、子育てを始め諸施策の充実による人口増への取り組みなど高い評価を受けてこられました。私も伊藤村長の手腕、実績を心から尊敬している一人で、選挙で訴えました「元気あふれる村づくり」に向けての施策などを継続する中、更に暮らしやすい元気あふれる村づくりに全力で取り組んでいきます。

村政運営では

「元気あふれる村づくり」に取り組みます。そのために、村民の皆さまの声に耳を傾け対話してまいります。

私は選挙戦を通じ多くの方とお話をさせていただきまして。生活からにじみ出た要望

や不安、将来への夢や希望などを聴きました。

この中には暮らしやすさを求めるものや今後若者の新感覚で、農業・商工業を引っ張り、村を担ってこれれば、更に活気がでる話などありました。

皆様から頂いた声や知恵をよく考え、理解し、村の施策の中に組み込み解決を図って行く姿勢を貫く所存です。

その中で、四年間取り組み目標の中身として次の四項目を重点といたします。

- 1 人口を増やすための環境のより強化
- 2 農業・商業・工業の活性化



# 村長就任

3 防災・減災に対する取り組みのより強化  
4 リニア・三遠南信の高速網を下條村の活性化に繋げるビジョンの策定 実行への着手

一つの目の「人口を増やすための環境のより強化」については赤ちゃんから高齢者までもっと暮らしやすい村に視点を置きます。出会いの場や安心して子育てができる環境、通学支援の充実、安心して働ける環境、そしてお年寄りには心の安らぎを持てる環境の提供などの他、中学校や小学校の大規模改修や子育て支援センターの建設に取り組みます。

二つ目の「農業・商業・工業の活性化」について農業ですが将来を担う若者や活躍していることが励みになるような取組に対する支援を、また井水に対しては、一定のルールづくりをし、支援の方向を出します。商業については村

内でお金の循環する環境など、工場については下條に立地しているメリットを感じていただける支援などの取り組みをします。

三つ目の「防災・減災に対する取り組みのより強化」について災害時における本部機能の強化として庁舎など蓄電・発電設備の整備、減災対策として避難訓練の強化、道路など生活基盤の早期復旧ができる体質強化などの取り組みをします。

四つ目の「リニア・三遠南信の高速網を下條村の活性化に繋げるビジョンの策定 実行への着手」についてですが

リニア残土の埋め立て地のあるべき姿については住民を含めた特別委員会を設け、その意見を尊重し決定していきます。また、工場誘致や移住しやすい環境づくり等にも取り組んでいきます。

その他にも多くの課題がありますが「暮らしやすい元気あふれる村づくり」のため皆様方との信頼関係が不可欠でございます。その絆を大切にしていくなかで村づくりの原点であると確信をいたしているところではあります。

スタートに当たり村民の皆様への積極的なご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げます。村長就任のご挨拶といたします。



7月11日(月) 当選証書が付与されました

議会  
だより

# 第2回下條村議会定例会 伊藤村長最後の定例議会

会期 6月 8日から  
6月15日まで

平成28年第2回定例議会は、6月8日に召集され、15日までの8日間の会期で行われました。伊藤村長最後の定例議会であり、村長選挙出馬による現役議員の辞職が報告されました。1名の議員より一般質問が行われ、報告2件、専決処分の承認4件、人事1件、補正予算2件、人事その他の案件1件、請願3件、意見書3件が提出され審議の結果16件を可決し閉会しました。

### ▼一般質問は、副議長より

初日に行われた一般質問は次のとおりです。

- 熊本地震の対応について
- リニア残土受入れについて
- 「人づくりは村づくり」の村長の一貫した理念の基での教育行政の伝承と更なる学力向上に向けての取り組みについて

宮嶋 怡正

(一般質問の様子は、議会当日ケーブルテレビで中継放送し、後日録画放送しました。下條村のホームページの中でもご覧になれます)

### ▼報告

- 下條村議会議員の辞職について  
村長選挙出馬のため金田憲治氏が六月三日付で議会議員を辞職し議長がこれを同日付で許可したことを報告しました。
- 繰越明許費の報告について  
地方自治法施行令第四百六十六条第二項の規定により、平成二十七年下條村一般会計の繰越明許費について計算書を報告しました。

### ▼前年度一般会計歳入歳出補正予算の専決処分

国の補正予算に新たに追加された「地方創生加速化交付金事業」へ申請していた「飯伊地域における航空機産業分野の人材育成と技術開発力の強化」広域連携事業が三月十八日付で採択となり、二十七年予算への計上がその条件となるため三月三十一日付で歳入歳出それぞれ二千七百万円を計上する内容で可決されました。

### ▼中学校大規模改造工事請負契約の締結

トイレの洋式化に併せ外壁塗装吹き替え、外壁タイル改修を行う中学校大規模改造工事が八社による指名競争入札の結果、木下建設株式会社社が八千七百四十八万円で最低落札者となり契約を締結したことが承認されました。

### ▼条例一部改正

- 下條村税条例の一部を改正する条例について  
村民税の修正申告に伴う税額の増額更正があった時の延滞金計算期間の規定の整備、軽自動車税の環境性能割の規定及び現行の軽自動車税を種別割に名称変更する内容で可決されました。
- 下條村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について  
課税限度額の引き上げ、国保税の減額措置に係る軽減判定所得の算出方法の変更する内容で可決されました。

- 下條村固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について  
行政不服審査法の改正に伴い、審査申出の手続、記録及び委員会の議事についての調書作成の規定を整備する内容で可決されました。

### ▼下伊那郡町村公平委員会組合規約の一部変更について

下伊那郡町村公平委員会の行う「共同処理する事項」において、行政不服審査法施行に基づく付属機関の事務を新たに加えるため、組合名を「下伊那郡町村総合事務組合」に改め、併せて規

約名も改める内容で可決されました。

### ▼補正予算

- 一般会計(第一号)  
二千六百万円増額

・歳入の国庫分は、新規事業として地域経済循環創造事業交付金三百七十五万円の増額をおこない、県支出金では総務費県補助金に「災害に強い村づくり事業」が元気づくり支援金事業として採択されたため、三百二十二万円の増額をしました。

歳出では管理建設費として恩田井水第一接合井プロジェクト更新工事費用百六十万円を増額計上し、予備費にて十二万円を減額調整しました。また歳入では繰入金として国の示す基準である建設改良費の10%以内ということで十万円を増額しました。また工事の財源として基金を取り崩し百四十万円を増額しました。総額では一億二千三百五十万円となり可決されました。

### ▼請願

「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願書について

採択

●国の責任による三十五人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願書について

採択

●子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める長野県への意見書の提出を求める請願書について

採択





▼意見書

三件の意見書が提出され、可決され、関係機関へ送付しました。

●「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書

●国の責任による三十五人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書

●子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める長野県への意見書

▼第一回下條村臨時会

・八月一日、第一回臨時会が行われ、改選後の議員の議席の決定、民生福

長野県町村議員研修会に出席して

竹村 宗次

社委員の構成並びに委員長・同副委員長の決定（委員長に串原肇氏・副委員長に古田勝美氏）監査委員の選任を行いました。（詳細は十五頁を参照）併せて特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部改正を行い、村長を十五％、副村長・教育長を十％とそれぞれ削減することとし可決されました。また一般会計の補正予算（第二号）として五月十一日の豪雨によって発生した農地及び農業施設災害の復旧費として二千六百万円を増額する内容で可決されました。

七月二十一日松本のキッセイ文化ホールで長野県町村議員を対象に研修会が開かれていました。諏訪出身の明治大学政治経済学部教授、牛山久仁彦先生の「議会の活性化と政策立案」のテーマで基調講演があり、講演の中で一番自分が感じたことは「住民の声を形にする努力」これが大切だと思いました。

パネルディスカッション「県内町村議会での活性化への取り組み」パネラーとして軽井沢町議長・南箕輪村議長・麻績村議長・飯綱町議長の四名で行われました。軽井沢議長は「開かれた議会」「信頼される議会」を目指し議会改革検討特別委員会を設置して議会活性化

を進めているとのことでした。次に南箕輪議長は平成十六年に議員定数を十六人から十人に削減したが、人口が四十年で約二倍になったことで、住人の議員で住民の声を聴くことができず、また若者・女性・転入者声をどう聴いていくかが今後の課題だそうです。次に麻績村議長は二千七百三十六人の小さな村で平成十六年の平成の大合併の際、合併協議会からの離脱により自立の道の選択をしました。自立計画策定委員会から議員定数及び報酬の見直しを受け議会に対して住民の関心が深められたそうです。また、小学校六年生を対象とした子ども議会を開催し、社会科の学習として将来の村

を託せる人材を育てたいとのこと。村政に対し村民の関心もあり傍聴者も多いそうです。最後に飯綱町の議長が旧牟礼村の第三セクター飯綱リゾート開発が破綻し約八億円を支払うことになつて議決責任と説明責任が問われ、このことが議会改革への動機になつたとのことでした。

下條村でも人口減少に歯止めをかけるためにどのように対応したらよいか考えなければなりません。まずは婚活に力を入れ、智恵のある女性政策サポーターを要請して議会と共に早急に進めたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

中京・阪神圏下條会解散へ

～会費残金を全額寄付～

下條会は、中京・阪神圏で活躍される下條出身者との交流を深め、人脈等の形成を図る目的で平成四年に発足されました。以来二十四年に亘り交流を深めて参りましたが、この度「当圏内の下條出身者の減少などにより、新入会員の加入が期待できず高齢化が進んできている事」、「ここ最近の総会出席者が下條村からの出席者より少なくなるのを防ぐので精一杯である事」等々の状況を鑑み、役員会において平成二十八年五月六日をもって中京・阪神圏下條会を解散することに決定したとの報告がありました。

そして、会の会計に残された三五三、一一六円については、村の教育・福祉等に役立ててと全額を寄付して頂きました。

会の解散は、大変残念なことです。発足から二十四年の永きにわたり会の運営にご尽力された下條会の皆様に心からの感謝を申し上げます。ありがとうございます。



# あしたむらんどだより

## 臨海学習

下條中学校一年A組 細田 真仁



先日、七月十二日の火曜日と十三日の水曜日に臨海学習で福井県

若狭湾青少年自然の家に行きました。行きのバスでは、ビンゴなどのレクをしました。レク係が一生懸命進めてくれたのでとても盛り上がりました。僕は学習係でクイズを三十問出題しました。盛り上がってくれたので良かったです。バスレクが終わりました。自然の家に着きました。そして入所式をしました。きちんと話を聞いたら、昼食を取りました。バイキングでした。班のみんなと楽しく、おいしく食べられました。臨海学習には、メインの行事が三つあり、その一つのカッター訓練をしました。ライフジャケットを着たら、この訓練で大事な事・かけ声・かいのこぎ方などを教えてもらったから、カッターに乗り込み、いよいよ出発です。僕は内側だったので、

とてもつらかったです。最初は、かいをこぐタイミングもずれていたのに、最後はそろっていました。良い体験ができたと思います。二つ目のメインの行事、キャンプ

ファイヤーをやりました。レクをいくつかやりましたが、僕はクラスの出し物が一番楽しかったです。僕のクラスはチューチュートレインを踊り、海の声を歌いました。みんな楽しんでできました。二日目が始まりました。朝は、集いの広場で学校紹介やラジオ体操をしました。その後朝食を取り、最後のメインの行事の水泳訓練をしました。僕はずっと足のつかない所を泳ぐAグループでした。海底は大きな岩でこつこつしていて、海底が見えないほど深い所もありました。楽しい水泳訓練でした。僕



はこの臨海学習で、下條村にない海で様々な体験をすることができました。この体験を期に海で安全に泳ぎたいと思います。とても楽しい臨海学習でした。

## 模擬議会

下條中学校三年A組 串原 陽愛



七月十四日に平成二十八年度下條村模擬議会が行われました。

私たちの班は、現在村内に多くある空き家の活用について考えました。役場の方からのお話をお聞きし、空き家が十年後には現在の二〜三倍になると考えられる、ということを知り、その空き家をリフォームし住宅として売り出すことを考えました。提案をするにあたってメゾンコスモスの居住者にアンケートに協力していただきました。

その結果から、当初の私たちの提案は難しいと考え、村内の土地を宅地として造成することを提案しました。村民からの意見はとても大切であり、自分たちは思いつかなかったことが出てきたりします。今後、村で何か政策を打ち出す際には、積極的に村民の意見を取り入れていただきたいと思



います。

また私は今回の模擬議会で議長を務めさせていただきました。学校で行う生徒総会の議長も務めたことがありますが、そのときとはまた違った緊張感があり、思わず早口になってしまいました。議事を進めていくうえで予想外のこともありました。臨機応変に対応することができてよかったと思います。議長として今回学んだことを、今後の議長の仕事に役立てていきたいです。

今回の模擬議会では九つの提案をさせていただきました。これらの提案はどれも中学生が下條村の今、そして未来のことを真剣に考えた結果です。村長さんには多くの意見を前向きに受けとめていただき、うれしく思いました。この学習を通して、下條村について深く考え、調べ、提案するなど、とても充実した経験ができました。





# 村の図書館から



## 「一日図書館長」で 図書館の仕事を経験

七月三日(日)午後、開館記念イベントとして毎年開催する「一日図書館長」を行いました。利用者代表や小中学生など計八人が委嘱場を受け取り、図書館の仕事内容を体験しました。

平成七年七月七日の開館日以来継続して、図書館の役割や使命を一般の村民にも理解してもらおう事を目的に開催してきました。

はじめに宮島俊明副村長が、今年七月任期を終える伊藤村長より寄せられたメッセージを朗読。「オープンより利用があるかどうか最大の不安でしたが、村民の皆様のご協力と職員の取組みにより、利用が多く心より感謝。未来に向けてますますご期待を申し上げます」と伝えられた。

八人の一日図書館長は、宮島副村長より辞令を受けると、図書館入口で記念撮影。その後、会議室にて図書館の概要説明を受け、いよいよ業務体験へ。カウンターにて貸出返却業務や、棚へ本を戻す返本を体験。また新刊の分類やデー

夕入力等の図書受入業務を体験し、ふだんは入る機会のない書庫を見学しました。

その後は、懇談の中で図書館への要望や感想をいただきました。

### 平成二十八年度一日図書館長

#### 【利用者代表】 (敬称略)

宮嶋 栄次(中島)

北尾 隆代(阿知原)

鎮西 時江(鎮西)

中村みちる(北又)

#### 【小学校PTA副会長】

筒井千代子(阿知原)

#### 【中学校PTA副会長】

野中 万紀(北又)

#### 【小学校児童会図書委員長】

市瀬 俊介(西部)

#### 【中学校生徒会図書委員長】

佐々木福音(北又)



### いただいたご要望

★飯田広域ネットワークに入れば便利になるので検討してほしい。

★タッチパネルでの検索で、本の場所表示がたまかすぎてわかりにくい。修正したほうが、利用しやすくなるのでは？

★中学校のアンケートで読書通帳導入についてどう思うかという質問があった。自分や子どもの借りた本の記録が残せたら、とてもうれしい。ぜひ公共図書館での導入を検討してほしい。

### いただいたご感想

★貸出返却は誰でもできるけれど、棚に本を返す作業と本の登録は、とても大変だと思った。

★書庫の本も借りられることが分かったのでじっくり見て、借りてみたい。村の日本一も立派だが、図書館も立派。

★本が準備される過程などを知り、今までより「本を大切にしながら」と思った。

★子どもが小さいので、いつも利用している。簡単に借りているが借りるまでにこれだけの苦勞があるかわかった。図書館の本や資料は貴重な財産。村の多くの人に知ってもらいたい。

★子どもが小さい時には来たが、大きくなってからは足が遠のい

た。また利用したい。

★たまに調べものに来ると、親切に対応してくれてうれしい。図書館が村に密着し、村民の役に立っていることを感じた。

★学校での図書館運営に生かしていきたい。

## 建設労連の皆さんが ボランティアで修理

建設労連の皆さんのボランティアにより、図書館の外の野外ベンチの部分的修理と、カウンター通路の壁が補修されました。利用者皆さんに、安心して使っていた



だけるようになります。ありがとうございました、ご報告します。ありがとうございます。ございました。



# カメラでみる 村の動き

# ズームアップ

# 下條

平成28年 5月から  
平成28年 8月まで



▲ 8月20日 神奈川県・日産スタジアムで行われた第32回全国小学生陸上競技交流大会(種目:ジャベリックボール投)へ長野県代表として出場された久保田莉生さん(山一東)が表敬訪問されました。



▲ 8月3日~4日 岡山県で行われた全国高等学校総合体育大会(インターハイ)へ剣道団体で出場された石川未悠さん(長原)が表敬訪問されました。



▲ 8月3日~4日 富山県高岡市で行われた中体連北信越大会で、卓球男子個人で出場された福澤勇太さん(北又)が表敬訪問されました。



▲ 5月26日 保育所の交通安全教室が行われ、「信号機のある場所での安全な渡り方」について、駐在の土屋巡査部長、安協下條支部の皆さんから教えていただきました。



▲ 夏休み期間中 中学3年生を対象とした夏休み特別補習授業を今年度初めて行いました。



▲ 6月23日 小学校音楽会が開催され、子どもたちのさわやかな歌声が響き渡っていました。



▲ 6月26日 村団総合訓練が村民グラウンドで開催され、小型ポンプ操法・救急法の技術大会とラッパ班の公開発表が行われました。



# 紙資源を燃やさないで

村と桐林クリーンセンターでは、年に2回、燃やすごみの内容物チェックを行っています。

その際に燃やすごみの組成を調べたところ、本来ならリサイクルできる紙資源を燃やしてしまっているケースが多々見られました。

特に多いのは、いわゆる「雑がみ」と呼ばれる、お菓子・食品の包装紙やトイレトペーパーの芯、ティッシュの箱などで、全体では燃やすごみの11.5%がリサイクルできるものであったことがわかりました。

紙資源は有価物として紙の再生業者に引き取られ、中学校生徒会の活動費や村のごみ処理の財源となっています。また、燃やすごみ袋も高価ですので、ちょっとした分別の手間だけでごみの量を減らすことは家計の助けにもなります。

なにより、豊かな地球環境を次世代へ継承することは、みんなの責任・義務であり、願いです。

紙資源のリサイクルにご協力をお願いいたします。

## 代表的な雑がみ



## 「雑がみ」の出し方は3種類



- ① 紙袋に「雑がみ」だけをためて、たまったら袋ごと出す。
- ② 「雑がみ」だけを束ねてひもで十字にしばり、出す。
- ③ 少量であれば雑誌にはさんで出す。



恒例となったしもじょうまつりが今年も中学校をお借りし、「第十八回しもじょうまつり」として、盛大に開催されました。

当日は実行委員の皆さんで会場準備の仕上げをし、午後三時半からお祭りが開催されました。

ステージでお祭りのトップバッターを飾ったのはコスモキッズ、カッセイカマンとのコラボレーションでダンスをしてくれました。続いて「shimogyo」の太鼓でお祭りらしい雰囲気を作ってくれました。

第18回 夏の恒例イベント！

しもじょうまつり開催

いつも発表をしてくれる空手クラブ・剣道クラブ・恵音同好会に加え、初参加の阿南高校軽音部の皆さんも登場してくれました。

清明園の周りでは、おいしい食べ物や、ゲームの屋台、阿南消防署・阿南警察署の体験コーナーや実際に使われている車両の展示等が行われました。

ステージにカッセイカマンが登場すると、子どもたちが中心に大盛り上がり、フキウダの強さにピンチが訪れると「がんばれー！」と会場内は応援の声であふれかえり、カッセイカマンに力を与えました。

お祭りの目玉ともなっているうちわを使った抽選会では、体育館内に大勢の方が集まり、自分のうちわと読み上げられる数字を照らし合わせ、子どもたちは当たるよう祈っていました。どの商品も暑い夏を楽しく乗り越えられるような



商品で、当たっても当たらなくても楽しんでいただけたと思います。

大抽選会が終わると、外に子どもが集まり、御神輿の準備。ポツポツと雨粒が落ちてきました。子ども神輿が「わっしょい！」と元気な声とともに周りだすと、あまりの元気の良さに雨も止み、心が落ち着く穏やかな光がともる竹宵の道、お祭りを締めくくる煙火大会も何事もなく楽しむことができました。

子どものエネルギーで楽しく過ごせた「第十八回しもじょうまつり」、下條村の発展・子どもたちの健やかな成長を祈念しながら、次回のお祭りを心待ちにしたいと思います。

# 下條村ふるさと応援寄付金

今年度より、ふるさと応援寄付金で品目、納税方法など更なる取り組みを行います。

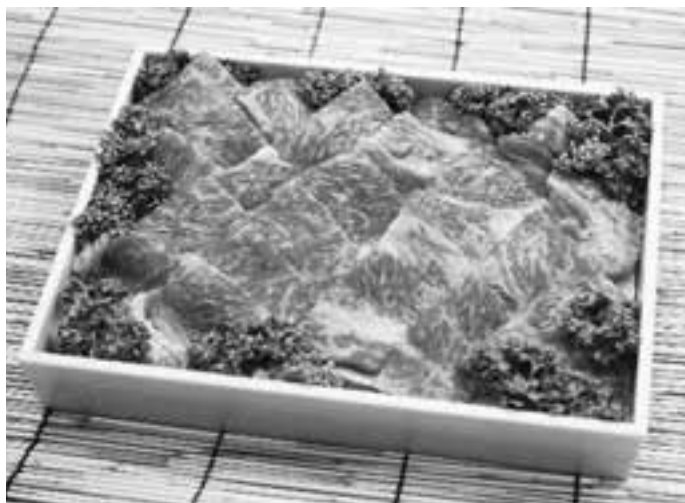
まず、昨年度から始めました、りんご(サンふじ)、なし(南水)、市田柿、そば焼酎、竜太ワインに加え、りんご(つがる、シナノスイート)、なし(幸水)、南信州産黒毛和牛を返礼品として新たに追加しました。

追加するりんご、なしについては、今までどおり一万円のご寄附で各種五キログラムを返礼品としてお送りします。

また、南信州産黒毛和牛は、三万円のご寄附から申し込みが可能で、毎月百個限定となっております。複数回の申し込みが行える品目となっておりますので、ぜひご検討下さい。商品は、月末までのご入金で、翌月中旬～下旬に冷凍発送でお送りします。消費期限が短いことから発送日の指定が出来ないため、長期不在の場合などは、申し込む際に

備考欄に記載してください。

さらに、下條村は新たにインターネットサイト、楽天市場でもふるさと応援寄付金を八月より開始しました。従来のふるさとチョイスと、楽天市場、これからも様々な形でふるさと応援寄付金を入れてまいりますので、興味のある方、分からないこと、お聞きしたいことなど、ぜひ下條村役場総務課企画財政係までお電話ください。



南信州産 黒毛和牛 約5人前 (写真はイメージです)

# 下條村ふるさと応援寄付金お礼と報告

この度は、大勢の方から下條村ふるさと応援寄付金にご協力いただき、誠にありがとうございます。『下條村の村づくり』のために、有効的に活用させていただきます。

昨年度の寄付金の内訳は下記のようになっており、合計千六百五万六千一円と一昨年度の約十倍の寄付がありました。

また、今年度も「下條村ふるさと応援寄付金」を募集しておりますので、ふるさとを応援したいという方のご寄付をお待ちしております。

下條村ホームページでも紹介されておりますので、どうぞご覧ください。



基金名称	金額
(1)福祉に関する事業	3,643,201円
(2)教育、スポーツの振興に関する事業	2,443,200円
(3)若者定住、少子化対策等に関する事業	4,388,200円
(4)自然環境保全に関する事業	4,058,200円
(5)歴史文化保存に関する事業	1,523,200円
合計	16,056,001円

平成二十七年度的におきましては、千三百九十四名の方から寄付を頂きました。寄付を頂きました皆様の中で、氏名の公表を承諾していただいた方々のお名前を掲載させていただきます。



氏名	都道府県	氏名	都道府県	氏名	都道府県	氏名	都道府県
金井映人様	愛知県	三笠貴彦様	神奈川県	高橋勇様	静岡県	吉田温様	東京都
中野宏様	愛知県	堀江亘様	神奈川県	柳雪江様	千葉県	関口治樹様	東京都
成田光正様	愛知県	清水直樹様	神奈川県	中島康善様	千葉県	池田朗様	東京都
中島英子様	愛知県	小山芳治様	神奈川県	杉山良子様	千葉県	松下努様	東京都
小橋一仁様	愛知県	今野栄一様	神奈川県	小泉道律様	千葉県	前澤秀治様	東京都
宇佐見修三様	愛知県	柳澤智敬様	神奈川県	小松葉恭明様	千葉県	大久保力様	東京都
神田孝一様	愛知県	吉田一秀様	神奈川県	森和久様	千葉県	武居泰孝様	東京都
高橋清徳様	愛知県	針原寛幸様	神奈川県	佐藤雪絵様	千葉県	山崎啓司様	東京都
本山克行様	愛知県	北分睦子様	神奈川県	村田浩一様	千葉県	松井雅江様	東京都
鈴木宗勝様	愛知県	石渡浩様	神奈川県	坪谷幸則様	千葉県	佐藤義弘様	東京都
畔柳務様	愛知県	佐谷眞木人様	神奈川県	浅野英孝様	千葉県	宮澤慶子様	東京都
早川英嗣様	愛知県	阿部廉様	神奈川県	吉田幸雄様	千葉県	後東俊博様	徳島県
横田典子様	愛知県	長谷川述史様	神奈川県	石橋敏靖様	千葉県	田野井正様	栃木県
内田良美様	愛知県	大石剛史様	神奈川県	染谷信恵様	千葉県	北原和久様	富山県
山田昌臣様	愛知県	能勢義昭様	神奈川県	杉田直木様	東京都	金澤健様	長野県
鈴木聡史様	愛知県	阪口博司様	神奈川県	福島光行様	東京都	篠田忠尚様	長野県
大山明信様	愛知県	古田仁士様	岐阜県	吉田茂生様	東京都	篠田貞三様	長野県
酒井隆裕様	愛知県	関谷好弘様	岐阜県	石田聡子様	東京都	篠田親治様	長野県
武山吉次郎様	愛知県	成田理恵様	岐阜県	鈴木健一様	東京都	吉田栄三様	奈良県
小笠原涉様	愛知県	黒田晃司様	岐阜県	横山尚洋様	東京都	澤田健史様	奈良県
新井文直様	愛知県	高橋貴美代様	岐阜県	栗原護様	東京都	石綿勇様	奈良県
近藤壯様	石川県	高橋英二様	岐阜県	大谷洋一様	東京都	大嶺卓司様	奈良県
原田雪乃様	茨城県	有我夏美様	岐阜県	小林昌彦様	東京都	上野和之様	新潟県
田口詩路麻様	茨城県	橋本敬様	岐阜県	石本真吾様	東京都	金子豊様	新潟県
阿部昌之様	茨城県	杉村和敬様	岐阜県	池田聡様	東京都	今中昌明様	兵庫県
久保裕一様	大阪府	馬場徳子様	岐阜県	安藤毅様	東京都	前田秀高様	兵庫県
南口ひろみ様	大阪府	石原衛様	京都府	峰善孝様	東京都	生田泰志様	兵庫県
辻野晋行様	大阪府	有馬久美子様	京都府	石川匡洋様	東京都	向寛明様	兵庫県
山口雅人様	大阪府	永田秀昭様	京都府	吉田信之様	東京都	通阪純也様	兵庫県
瀬戸浩司様	大阪府	川本克久様	京都府	森吟二様	東京都	小野行由様	兵庫県
吉村孝夫様	大阪府	井上良学様	京都府	藤本晃久様	東京都	岡本充央様	兵庫県
藤田亨様	大阪府	西口高生様	京都府	篠田潤一郎様	東京都	高森大介様	兵庫県
森田政春様	大阪府	島田真吾様	熊本県	竹島克洋様	東京都	田窪千智様	兵庫県
楠井和子様	大阪府	橋本喜輝様	熊本県	河瀬希代美様	東京都	西川さとみ様	広島県
古賀俊行様	大阪府	根岸正巳様	群馬県	横田博孝様	東京都	石橋一成様	広島県
辻明宏様	大阪府	鈴木雅文様	群馬県	竹内清佳様	東京都	田邊亮太様	広島県
中津由晴様	大阪府	小針剛様	埼玉県	藤原良信様	東京都	坪内成子様	福井県
垣内達也様	大阪府	山川和夫様	埼玉県	石川大輔様	東京都	高嶋徹様	福岡県
大村聡様	大阪府	新沼貴志様	埼玉県	立花まなみ様	東京都	小鳥居安澄様	福岡県
小橋建二郎様	大阪府	岩元真様	埼玉県	稲垣裕様	東京都	秋山豪様	福島県
藤原新也様	大阪府	岩元龍平様	埼玉県	梶泰規様	東京都	荒木壮様	福島県
山本洋子様	岡山県	中島輝久様	埼玉県	田所健司様	東京都	青葉工リ力様	北海道
小松原明宏様	岡山県	沼田祥平様	埼玉県	渡辺樹太郎様	東京都	村松洋志様	北海道
矢尾謙児様	岡山県	壺倉彰様	埼玉県	増井嗣久様	東京都	大友昭久様	北海道
木村直之様	岡山県	永沢映様	埼玉県	鮎田和子様	東京都	長尾寿一様	北海道
知念正治様	沖縄県	増田貴史様	埼玉県	梅澤聡様	東京都	長谷川靖倫様	北海道
石田優子様	鹿児島県	佐々木茂様	埼玉県	木村康行様	東京都	脇坂剛様	北海道
藤井雄介様	神奈川県	川上敦裕様	埼玉県	小林源様	東京都	相馬学様	北海道
野村賢司様	神奈川県	瀬川大輔様	埼玉県	岩崎裕行様	東京都	高井美千代様	北海道
四條祐幸様	神奈川県	鈴木はるみ様	埼玉県	住吉義光様	東京都	牧村七三路様	三重県
石原和志様	神奈川県	矢野武文様	埼玉県	垣内友和様	東京都	日沖貴宣様	三重県
田代陽子様	神奈川県	小山律子様	滋賀県	渡辺美雪様	東京都	山下善雄様	山梨県
菅原憲嗣様	神奈川県	室伏健様	静岡県	高橋潤様	東京都	山本和弘様	山梨県
加藤雄司様	神奈川県	守屋輝年雄様	静岡県	野川栄子様	東京都	木内慎治様	山梨県
清水広貴様	神奈川県	久朗津高德様	静岡県	加藤浩一様	東京都	八木孝志様	和歌山県
小原一浩様	神奈川県	山下清子様	静岡県	中村中様	東京都		

# 保育所だより

## ◎プール 楽しいな!

ことしは暑い日が続き、未満児さんから年長さんまで、連日プール遊びを楽しんでいます。毎年、スイミングの古田先生に各年齢に合った指導をしていただき、顔を水につける事、水に体が浮く感覚を覚える事、ビート版を使いパタ足で進む事等、楽しく遊びながら自然にできるように教えてもらって、毎日のプールの中に取り入れています。

水の中で楽しめるわらべうたもあり、皆でつながって歩いたり、水かけっこをしたりします。

また、7月の終わりにはプール参観があり、3歳以上児さんはお家の方に観てもらえるのを楽しみにしていました。

今年は未満児さんの人数が多く、0・1歳児と2歳児のプールを分けて遊んでいます。

赤ちゃんたちも、お水が好きなのは顔に水がかかっても平気な子、まだ、たらいの中の水で少し遊ぶ子、2歳さんになると頭からシャワーのようにかけたり、水の中にジャブンと入ったりして楽しんでいる子もいます。

夏ならではの楽しい遊び、個人差ももちろんありますが1人ひとりの様子に合わせながらしっかり楽しみたいです。



いきいきらんど情報



平成28年度臨時福祉給付金(簡素な給付措置)及び「障害・遺族年金受給者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)」のご案内

「臨時福祉給付金」及び「障害・遺族年金受給者向け給付金」を、次の内容で実施します。対象となる見込みの方には、八月末に申請書をお送りいたしましたので、必要事項を記入の上、役場福祉課までご提出ください。

### 支給対象者

○臨時福祉給付金 平成二十八年年度の住民税が非課税の方

○障害・遺族年金受給者向け給付金 平成二十八年度の住民税が非課税の方で、障害・遺族年金を受給している方

※ただし、前述のうち、次の方は対象外となります。

- ・住民税が課税されている方の扶養者、配偶者、専従者等になつて居る方
- ・生活保護を受けて居る方
- ・高齢者向け給付金を受給された方

○申請期間 平成二十八年九月一日(木)から平成二十八年十一月三十日(水)まで

### ○支給額

- 臨時福祉給付金 三千元
- 障害・遺族年金受給者向け給付金 三万円

○支給開始 平成二十八年十月(予定)

### その他

・申請は、申請書と必要書類を郵送または窓口への直接提出により行つてください。

・対象となる見込みの方で、申請書がお手元にならない場合には、お手数ですが福祉課までお問い合わせください。

・四月十五日(金)より開始した「高齢者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)」の申請受付期間については、七月十四日(木)をもちまして終了いたしました。

### 給付金をかたる詐欺にご注意を

給付金の申請や支給について、不審な電話やメールが全国各地で相次いでいます。

- ・給付金の支給に当たって、ATMの操作をお願いしたり、銀行へ行くよう指示したりすることは絶対ありません。
- ・電話やメール、インターネットを通じて申請受付、支給決定を行うことは絶対ありません。
- ・不審な電話やメール、訪問等がありましたら、最寄の警察署や役場までご相談ください。



## 10月10日は「目の愛護デー」です

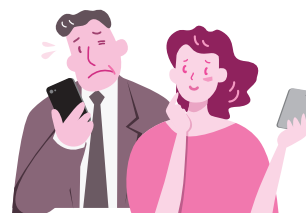
毎年10月10日は目の健康に関する活動や報告が行われる「目の愛護デー」です。

今年は「年に一度は、めめ先生に見てもらおう！気づきにくい目の病気をチェックしてもらおう。～目の健診はお近くの眼科専門医で～」が標語です。眼疾患等に対する予防意識を高め、眼疾患の早期発見、治療等目の衛生に関する注意を呼びかけています。

パソコンやスマートフォンで画面を長時間見続けることで、目の疲れを感じる人が多くなってきていますが、疲れ目が慢性化すると、頭痛、肩こり、眼精疲労や視力低下など、様々な問題を引き起こす可能性があります。目の疲労につながる原因を把握し改善に努めましょう！

目を長時間酷使すると、目の周りの血流が滞ることになり目の疲れが蓄積されていきますが、適度なマッサージや定期的に目を休めることで、血行の促進につながり目の疲れを軽減することが出来ます。大切な目を守るため、パソコンやテレビ等に向かう場合は、**1時間おきに15分くらいの休みをとるように心掛けましょう！**また、目の疲れを解消するには、定期的に遠くを見る習慣を身につけましょう。20分おきに20秒間20フィート（6m）先を見つめる「**20-20-20ルール**」を行うと、疲れ目に効果的とされています。目の渇きを防ぐにはデスクワーク等で長時間にわたり目に負担をかける場合は、適度に休憩をとるよう心掛け、意識的に瞬きをしたり、ビタミン入りの眼薬で栄養を与えるなど、涙の分泌量を増やすことで目の渇きを防ぎましょう。涙には殺菌作用に加え、塵や老廃物を洗い流し、目に酸素や栄養を運ぶ重要な役割があるとされています。

目の疲れは、体の病気が原因となり生じている可能性もありますので、目の痛みを感じる、または何らかの症状がみられる場合は、早急に眼科で診察を受けるようにしましょう。



## 下條村地域包括支援センターよりお知らせ

### ●下條村家族介護教室

地域包括支援センターでは、ご自宅で介護をされていらっしゃる方や介護について興味のある方を対象に家族介護教室を開催します。

講師及び日程は下記のとおりとなります。皆様のご参加をお待ちしております。

◎開催場所 下條村民センター

◎開催日時 各日とも13:00～15:00まで

第1回 7月31日（日）終了しました。

第2回 8月19日（金）終了しました。

第3回 9月10日（土）

テーマ：食事介助についての事例と専門アドバイス

講師：福村弘子先生（健和会病院看護師）

第4回 10月14日（金）

テーマ：在宅介護のプロが語る家族介護の日々

講師：平澤暁子先生（飯田市介護相談員）

第5回 11月11日（金）

テーマ：終末期を迎える訪問介護の役割と実技

講師：今村洋子（元飯伊訪問看護ステーション管理者）

### ●第2期下條村支えっこ講座

地域のために何かしたい。誰かと関わりながらいきいきと生活していきたい。そのためのボランティア活動について学ぶ、下條村生活支援ボランティア養成講座の平成28年度事業が決定しました。

講師及び日程は下記のとおりとなります。皆様のご参加をお待ちしております。

◎開催場所 下條村民センター

◎開催日時

第1回 9月1日（木）13:30～15:30 終了しました。

第2回 9月15日（木）10:00～15:30

A M：傾聴ボランティア実践のためのポイント

P M：傾聴ボランティア体験の振り返り

講師：端田篤人先生（長野大学社会福祉学部准教授）

第3回 10月6日（木）13:30～15:30

テーマ：ボランティアに行くためのレクレーション

講師：勝野佐江子先生（レクレーションコーディネーター）

第4回 10月13日（木）13:30～15:30

テーマ：精神障がいの人と共に働き共にいきる

講師：牧内克広（社会福祉法人希望の虹施設長）

第5回 11月10日（木）13:30～15:30

テーマ：ボランティアに活かす「すあま作りを覚えよう」

講師：森岡かず子

# つどいの広場から

## 「おかあさんありがとう♡」

日頃子育てをがんばっているお母さんたちに、カードのプレゼントを送り、ささやかな「母の日」をしました。「子どもが生まれてきてくれたことで、家族間で笑顔になれることが多くなった。」などのお母さんのお話に、傍で聞いている子どもたちは、とても心地が良かったのではないのでしょうか。

(場所) ふるさとふれあい館  
(いきいきランド駐車場側)

(日) 毎週火曜日、木曜日

(時間) 9:00 ~ 11:30

子育て中の親子さんを応援する広場です。どなたでも自由にお出かけください。



## 国際協力機構 (JICA) では、2016年度ボランティア (青年海外協力隊・シニア海外ボランティア) の募集説明会を以下の日程にて行います

募集期間：2016年9月30日(金)～11月4日(金)

長野県内募集説明会等

9月22日(木・祝) 午前11時～午後3時

JR長野駅ビル MIDORI3階りんごのひろば

10月1日(土) 午後2時～4時

長野市権堂イーストプラザコミュニティルーム1.2

10月6日(木) 午後7時～9時

松本市中央公民館 (Mウイング) 3階3-2会議室

10月16日(日) 午前10時～午後5時

JICA駒ヶ根青年海外協力隊訓練所 (一日体験入隊)

最終日10月16日(日)の一日体験入隊のみ、事前の参加予約と昼食代500円が必要になります。それ以外の説明会につきましては、参加費無料・申込不要になっております。

説明会についてのお問い合わせは、以下までお願いいたします。

電話：0265-82-6151

FAX：0265-82-5336

Eメール：jicakjv-jocv@jica.go.jp

担当者：JICA駒ヶ根 工藤裕美

## 放送大学十月生募集のお知らせ

放送大学では平成二十八年度第二学期(十月入学)の学生を募集中です。  
放送大学ではテレビ、ラジオ、インターネットを通して学ぶ通信制の大学です。  
心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。  
働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世

代、職業の方が学んでいます。  
○十五歳以上の方なら、1科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。  
○十八歳以上の大学入学資格をお持ちの方なら、入学試験はなく、全科履修生として入学でき、四年以上在学して、一・二単位を修得し卒業すると、学士(教養)の学位を取得できます。

○一つの分野を体系的に学びたい方には「放送大学エキスパート」を実施しています。  
出願期間について第一回は八月三十一日まで、第二回は九月二十日まで。資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学長野学習センター(☎0266-581-233)までご請求ください。放送大学ホームページでも受付けております。



# 選挙管理委員会だより

去る七月十日に行われました、参議院議員通常選挙、下條村長選挙、下條村議会議員補欠選挙の結果は左記のとおりです。

## ○参議院議員通常選挙

【長野県選出議員選挙】

- 投票率 八三・八一%
- 杉尾秀哉 一、三三二
- 若林健太 一、二〇五
- 及川幸久 四九

## ○下條村長選挙

- 投票率 八四・六八%
- 金田憲治 一、八五九
- 宮嶋清伸 七六三

## ○下條村議会議員補欠選挙

- 投票率 八四・五六%
- 竹村宗次 一、五六四
- 村上和彦 八七五

## 任期

- 金田村長は、平成二十八年七月二十五日
- 平成三十二年七月二十四日
- 竹村議員は、平成二十八年七月十一日
- 平成三十一年四月二十九日



村議会議員 竹村宗次氏

## 第三十七回村民ゴルフ大会

第三十七回村民ゴルフ大会が六月十一日、飯田カントリー倶楽部において、百七十二名という多くの皆様に参加いただき、盛大に開催することができました。

- 優勝 荒井 典昭
- 準優勝 中島 秀明
- 第3位 竹村 宗次
- ベストクロス 平澤 徹

## 村の人事

監査委員は任期満了に伴い、長年ご活躍いただいた福沢茂登氏が退任され、新たに前沢祐二氏(粒三)が新任されました。

任期は平成二十八年八月一日から平成三十二年七月三十一日まで



前沢祐二氏(粒三)のご活躍が期待されます。

## 役場の人事

次のとおり人事異動がありました。

☆退職(四月三十日付)

【福祉課】

嘱託管理栄養士 井口未奈子

☆新任(六月十三日付)

【福祉課】

嘱託管理栄養士 塚田 和也



新井 出身

## 戸籍の窓口

平成28年4月1日 ~ 平成28年7月31日 受付まで

## ◇出生

(子の名)

(保護者)

(地区)

- |       |    |     |
|-------|----|-----|
| 村沢 修平 | 正敏 | 新井  |
| 小林 遥太 | 厚志 | 合上  |
| 古賀 陽織 | 修平 | 合上  |
| 宮島 瑛太 | 圭輔 | 小松原 |
| 仲村 心晴 | 幸広 | 小松原 |
| 棚田 智  | 秀宏 | 北西  |
| 古田 舞蓮 | 充乃 | 北平  |
| 中山 蓮  | 龍乃 | 南   |

## ♥婚姻

- |       |       |       |       |       |      |       |       |        |      |       |       |        |       |       |        |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|--------|------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 前沢 広志 | 高間 智恵 | 宮澤 知紘 | 齊藤 里奈 | 熊谷 正敬 | 河嶋 南 | 薄窪 和也 | 竹村 茉耶 | 中山 龍乃輔 | 渡 玲美 | 松本 龍貴 | 関島 由衣 | 大野 浩太郎 | 清水 里奈 | 金田 誠也 | 長谷部 由華 | 小林 賢志 | 宮島 春華 |
| 粒三    | 粒三    | 飯田市   | 飯田市   | 大久保   | 長原   | 愛知県   | 手塚原   | 手塚原    | 飯田市  | 飯田市   | 飯田市   | 飯田市    | 飯田市   | 飯田市   | 飯田市    | 飯田市   | 飯田市   |
| 粒三    | 粒三    | 飯田市   | 飯田市   | 飯田市   | 飯田市  | 飯田市   | 飯田市   | 飯田市    | 飯田市  | 飯田市   | 飯田市   | 飯田市    | 飯田市   | 飯田市   | 飯田市    | 飯田市   | 飯田市   |

## ■死亡

- |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        |      |       |       |        |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|-------|-------|--------|-------|
| 藤本 以寿美 | 熊谷 佑作 | 山田 康弘 | 串原 とよ | 塩沢 清治 | 荒井 正廣 | 福嶋 利治 | 大石 義人 | 細田 嘉丈 | 村松 つじ | 佐々木 一丸 | 篠田 丸 | 熊谷 邦弘 | 熊谷 文夫 | 小澤 みどり | 小池 敏子 |
| 87     | 87    | 87    | 87    | 87    | 83    | 80    | 86    | 73    | 86    | 81     | 94   | 83    | 81    | 81     | 87    |
| 淳      | 光弘    | 光弘    | 一彦    | 治延    | 陽一    | 恭則    | 敏男    | 光弘    | 光弘    | 関島文次   | 合平   | 合平    | 和明    | 和明     | 賢文    |
| 山一東    | 中野    | 入野    | 明地    | 山一東   | 新井    | 阿知原   | 上野原   | 小松原   | 仁王    | 仁王     | 合平   | 合平    | 休戸    | 休戸     | 鎮西    |



私が村長に就任したのは、平成四年七月でした。当時日本列島は、平成のバブルもはじけ、不況という暗い時代に突入していくときでした。

当然各企業も経営は不振、若者も新天地を求め村を離れる傾向が強くなり、各自治体も財政面で苦慮している状況で、当村も当時債務が二十四億円強、これに対して基金は十一億円弱という苦しい立場でした。

この状況を打破するためには、まず行政が先頭に立ち見本を示さなければと真冬の寒い日が続く中、全職員がローテーションを組み飯田市内の物品販売の店頭に立ち、民間のスピード感、効率性等々を実体験してもらい、たった一週間づつでしたが真の「全体の奉仕者」としての研修ができ、それ以後見違えるようにすべてに取り組んでくれています。

次に村民の皆様にも当時の財務状況を報告し、皆さんにも出来る事は知恵を出し協力していただき

たいとお願ひし、今の材料支給事業等もその良き例です。二十四年経過した今でも、村内各所にて皆さんが尊い汗をかいてくれております。正に全員参加の村創りです。

こうした状況の中、無駄は徹底して省く反面、将来に向けて今対応しなければならぬ事業については積極的に取り組んで参りました。

特に人口増加対策では、若者定住住宅の建設、出産祝い金・保育料の半減・入学祝い金・高校生までの医療費無料化・教育ローンの補助・学校施設の充実・中学生の海外研修の等々充実に計って参りました。

定住人口増加に対しては、若者の住宅新築事業に上限百万円、併せて土地代も上限百万円、また中古住宅についても各種補助金を用意いたしました。

長寿化社会対応としては、各種検診の手厚い補助、後期高齢者・前期高齢者の皆様には医療費のそれぞれ五十%・三十%の補助等を含め、いつまでも健康で生活でき

る施策の充実に務めて参りました。さて、道路問題ですが、「主要地方道天竜公園阿智線」が四月九日に全線開通いたしました。

国道一五一号粒良脇トンネル工事は、地質が悪く苦勞されましたが、やっと本線ルートも決まり、地権者交渉の段階まで進んでいきます。近々に工事入札が行われます。

リニア中央新幹線も工事が具体的に始まっています。今、南アルプスのトンネル(約二十五km)山梨側の工事も始まり、長野県側の入札も済み、秋には着工予定です。

次は飯田市から中津川間のトンネル工事も始まる様になっていきますが、その掘削土の大半を「道の駅下條」下の窪地に埋め土させていたいただき広大な土地の利活用、更には同時進行の「三遠南信自動車道」も、今最大の難関箇所「青崩れトンネル」の工事に入っています。

この大きな事業が完成の暁には、今まで陸の孤島に甘んじていた当地が交通の要所に変化するという時がいますぐそこに来ている。

この様な大きな変化に対し各自治体の真剣な対応は勿論ですが、更に伊那谷という広域的な取組の中で活発なる論議が委ねられています。

村民の皆様も今日までのご努力で、下條村という名を全国に轟かせた実績をふまえ、新体制の中で積極的にご参加いただき、子や孫の時代に自信をもって引き継げる様、一層の努力と併せて、今日までの長きにわたるご指導、ご協力に心から御礼申し上げます。

